

《担当者名》八木こずえ [co-yagi@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

精神・身体状態の評価についての多様な理論とアセスメントを学び、対象者の精神・心理状態や社会的状況を的確に捉え、看護支援に結びつけるための基礎的知識を習得する。

【学修目標】

1. 精神・身体状態のアセスメントに関する多様な理論や方法を理解する。
2. 精神・身体状態のアセスメントについて、対象に応じたアセスメントの方法と実践への活用方法を学ぶ。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	精神看護における専門看護師のアセスメント	専門看護師のアセスメントに必要な個別アセスメントと俯瞰的視点、アセスメントを活かして実践力に融合する方略について学ぶ。	八木
2	精神機能のアセスメント 1) 精神医学的評価	DSM-5とICD-10について理解し、精神疾患の分類の変遷や経緯を含めて、精神医学的評価を活用する上でのメリットと留意点を学ぶ	八木
3	2) MSEとMHAによる精神状態の査定	MSE（精神状態の査定）とMHA（精神健康度）による精神状態の査定の実際と留意点について、事例をもとに学ぶ	八木 相澤加奈（特別講師）
4	3) 診断面接について	精神科の診断を進める過程における思考のプロセスと面接の進め方を事例を通じて学ぶ	八木 相澤加奈（特別講師）
5	4) 生活機能のアセスメント	国際生活機能評価を用いた生活機能のアセスメントを学ぶ	八木
6	5) 事例を用いたアセスメント	2-6回の講義に基づいて事例を用いてアセスメントの実際をプレゼンテーションする。	八木
7	心理学的アセスメント 1) 理論的基盤・ツールについて	心理学で用いられる主なアセスメントについて、理論的基盤と内容、ツールや活用方法を学ぶ	八木 春名大輔（特別講師）
8	2) 心理療法導入と実践におけるアセスメント	気分障害や摂食障害、不安障害、パースナリティ障害など、障害に応じた心理療法の適用とアセスメントの実際、評価ツールについて学ぶ	八木 春名大輔（特別講師）
9 10	3) 人間の発達や人格の成熟とアセスメント	ライフサイクルや発達危機との関連から、発達課題や成熟の状態など対象者理解のための視点を学ぶ気分障害や摂食障害、不安障害、パースナリティ障害など、障害に応じた心理療法の適用とアセスメントの実際、評価ツールについて学ぶ	八木
11 12	4) 精神力動的アセスメント	自我の機能と不安や防衛規制、転移や逆転移など、治療過程での症状化や治療抵抗となって現れやすい精神力動を把握するための視点を学ぶ	八木
13	看護活動におけるアセスメント 1) 対応困難な患者と看護師の反応とコンサルテーション	看護師や看護チームに陰性感情を引き起こす対応困難な患者の有り様と葛藤について精神力動的に理解し、コンサルテーションする視点を学ぶ。	八木
14	2) せん妄状態や認知症疑いによるケア困難な患者のアセスメントとコ	せん妄状態や認知症疑いによるケア困難な患者に対する専門看護師のアセスメントと介入、コンサルテーシ	八木 東谷敬介（特別講師）

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	ンサルテーション	ョン学ぶ	
15	3) 身体化による訴えが続くケア困難患者のアセスメントとコンサルテーション	身体化による訴えが続く、ケア困難患者に対する専門看護師のアセスメントと介入、コンサルテーションを学ぶ	八木 東谷敬介(特別講師)

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による。

【評価方法】

プレゼンテーション30%、準備・参加状況30%、課題レポート40%から総合的に評価する。

【教科書】

指定しない。適宜資料を配布する。

【参考書】

1. 井部俊子、大生定義 監修：専門看護師の思考と実践. 医学書院. 2015.
2. 神田橋條治：精神科診断面接のコツ. 岩崎学術出版社. 1990.
3. 宇佐美しおり・野末聖香編集、精神看護スペシャリストに必要な理論と技法、日本看護協会出版会、2009
4. 上田敏：ICFの理解と活用 国際生活機能分類 人が「生きること」「いきることの困難(障害)」をどうとらえるか. きょうされん. 2005.

【学修の準備】

提示した参考書や学習課題に関する文献を自主的に探して予備知識を得ておく。また事例のアセスメントに必要な知識を拡充しておくこと。